

令和4年度公営企業会計決算の概要

- 電気事業は発電機オーバーホールに伴う発電停止により2年ぶりに赤字
- 水道事業は2年連続黒字達成
- 工業用水道事業は動力費高騰等により平成16年度以来の赤字
- 流域下水道事業は令和元年度の公営企業会計導入以降初の黒字

1 電気事業

(1) 収益的収支

- 水力発電の発電機について、令和4年10月～5年3月にかけて発電停止し、オーバーホールを実施したため、供給電力量は、対前年度比51.6%減の1,853万1千kWhとなりました。
- 収入は、発電量の減等により、対前年度比51.5%減の2億9百万円、うち、料金収入は、対前年度比51.6%減の2億4百万円となりました。
- 支出は、オーバーホール実施による修繕費の増等により、対前年度比20.8%増の5億2百万円となりました。
- この結果、収支差引は、2億93百万円の純損失となりました。

(単位：kWh、百万円)

区 分	令和4年度 (決算)	令和3年度 (決算)	前年度比較	
			(R4-R3)	増減率
供給電力量	18,531	38,324	△ 19,793	△ 51.6%
収入 A	209	431	△ 222	△ 51.5%
うち料金収入	204	422	△ 218	△ 51.6%
支出 B	502	416	86	20.8%
差引 A-B	△ 293	15	△ 308	—

※消費税及び地方消費税を控除した額である。

(2) 資本的収支

- 資本的収支は、収入は1億54百万円、支出はオーバーホール実施に合わせ水車の改良工事を実施したことから1億97百万円となり、収支差引不足額は43百万円となりました。
- この収支差引不足額は、損益勘定留保資金等（現金支出を伴わない減価償却費など）で補填しました。

(単位：百万円)

区 分	令和4年度 (決算)	令和3年度 (決算)	前年度比較	
			(R4-R3)	増減率
収入 C	154	181	△ 27	△ 14.9%
支出 D	197	28	169	607.5%
うち建設改良費	181	14	167	1,220.0%
差引 C-D	△ 43	153	△ 196	—

※消費税及び地方消費税を含む額である。

2 水道事業

(1) 収益的収支

- 給水量は、対前年度比 4.5%減の 4,129 万 6 千立方メートルとなりました。
- 収入は、給水料金の増等により、対前年度比 0.8%増の 53 億 29 百万円、うち、料金収入は、対前年度比 1.7%増の 49 億 75 百万円となりました。
- 支出は、減価償却費や修繕費の減等により対前年度比 3.8%減の 44 億 46 百万円となりました。
- この結果、収支差引は、8 億 83 百万円の純利益となりました。

(単位：千 m^3 、百万円)

区 分	令和 4 年度 (決算)	令和 3 年度 (決算)	前年度比較	
			(R4-R3)	増減率
給水量	41,296	43,256	△ 1,960	△ 4.5%
収入 A	5,329	5,284	45	0.8%
うち料金収入	4,975	4,892	83	1.7%
支出 B	4,446	4,622	△ 176	△ 3.8%
差引 A-B	883	662	221	—

※消費税及び地方消費税を控除した額である。

(2) 資本的収支

- 資本的収支は、収入は 9 億 95 百万円、支出は 32 億 27 百万円となり、収支差引不足額は 22 億 55 百万円となりました。
- この収支差引不足額は、損益勘定留保資金等（現金支出を伴わない減価償却費など）で補填しました。

(単位：百万円)

区 分	令和 4 年度 (決算)	令和 3 年度 (決算)	前年度比較	
			(R4-R3)	増減率
収入 C	995	1,968	△ 973	△ 49.4%
支出 D	3,227	4,772	△ 1,545	△ 32.4%
うち建設改良費	1,504	2,582	△ 1,078	△ 41.8%
繰越充当財源 E	23	0	23	—
差引 C-D-E	△ 2,255	△ 2,804	549	—

※消費税及び地方消費税を含む額である。

3 工業用水道事業

(1) 収益的収支

- 有収水量は、対前年度比 1.5%増の 1,079 万立方メートルとなりました。
- 収入は、有収水量の増等により、対前年度比 1.4%増の 3 億 11 百万円、うち料金収入は、対前年度比 1.7%増の 2 億 60 百万円となりました。
- 支出は、修繕費や動力費の増等により、対前年度比 31.5%増の 3 億 63 百万円となりました。
- この結果、収支差引は、52 百万円の純損失となりました。

(単位：千 m^3 、百万円)

区 分	令和 4 年度 (決算)	令和 3 年度 (決算)	前年度比較	
			(R4-R3)	増減率
有収水量	10,790	10,631	159	1.5%
収入 A	311	307	4	1.4%
うち料金収入	260	256	4	1.7%
支出 B	363	276	87	31.5%
差引 A-B	△ 52	31	△ 83	—

※消費税及び地方消費税を控除した額である。

(2) 資本的収支

- 資本的収支は、収入は 81 百万円、支出は 2 億 39 百万円となり、収支差引不足額は 1 億 57 百万円となりました。
- この収支差引不足額は、損益勘定留保資金等（現金支出を伴わない減価償却費など）で補填しました。

(単位：百万円)

区 分	令和 4 年度 (決算)	令和 3 年度 (決算)	前年度比較	
			(R4-R3)	増減率
収入 C	81	243	△ 162	△ 66.5%
支出 D	239	150	89	58.9%
うち建設改良費	207	122	85	69.8%
差引 C-D	△ 158	93	△ 250	—

※消費税及び地方消費税を含む額である。

4 流域下水道事業

(1) 収益的収支

- 処理水量は、対前年度比 4.2%減の 1 億 922 万 7 千立方メートルとなりました。
- 収入は、会計処理を見直し資本的収支に計上していた一般会計繰入金及び市町負担金を収益的収支に計上し、併せて特別利益を計上したことから、対前年度比 19.3%増の 143 億 59 百万円となりました。
- 支出は、公営企業会計導入時の開始貸借対照表を修正し、特別損失を計上したことから、対前年度比 7.8%増の 141 億 65 百万円となりました。
- この結果、収支差引は 1 億 94 百万円の純利益となりました。

(単位：千 m^3 、百万円)

区分	令和 4 年度 (決算)	令和 3 年度 (決算)	前年度比較	
			(R4-R3)	増減率
処理水量	109,227	113,982	△ 4,755	△ 4.2%
収入 A	14,359	12,040	2,319	19.3%
支出 B	14,165	13,136	1,029	7.8%
差引 A-B	194	△ 1,096	1,290	—

※消費税及び地方消費税を控除した額である。

(2) 資本的収支

- 資本的収支は、収入は 98 億 11 百万円、支出は 106 億 20 百万円となり、収支差引不足額は 8 億 9 百万円となりました。
- この収支差引不足額は、損益勘定留保資金等（現金支出を伴わない減価償却費など）で補填しました。

(単位：百万円)

区分	令和 4 年度 (決算)	令和 3 年度 (決算)	前年度比較	
			(R4-R3)	増減率
収入 C	9,811	12,391	△ 2,580	△ 20.8%
支出 D	10,620	13,507	△ 2,887	△ 21.4%
うち建設改良費	6,454	8,416	△ 1,962	△ 23.3%
差引 C-D	△ 809	△ 1,116	307	—

※消費税及び地方消費税を含む額である。

【本報道発表に関するお問合せ】

[電気事業・水道事業・工業用水道事業]

建設交通部公営企画課 課長 大 路 裕 子 TEL 075-414-5465
 課長補佐兼係長 大 濱 幸 裕 TEL 075-414-5478

[流域下水道事業]

建設交通部水環境対策課 課長 長谷川広樹 TEL 075-414-5200
 係長 石井俊英 TEL 075-414-5207

まゆろ

